

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

SWIVEL OPEN

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例：用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

注意： 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年
製造日
検査担当
識別番号

コード B:

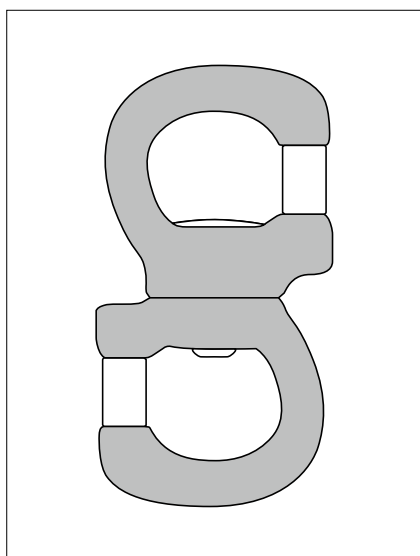
00 A 0000000 000

製造年
製造月
製造番号
識別番号

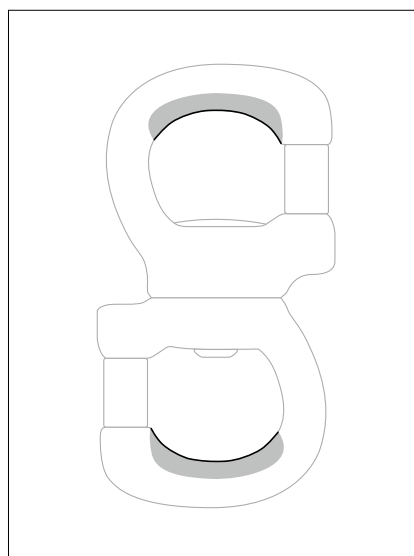
耐用年数が過ぎていることを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3. フレームの点検

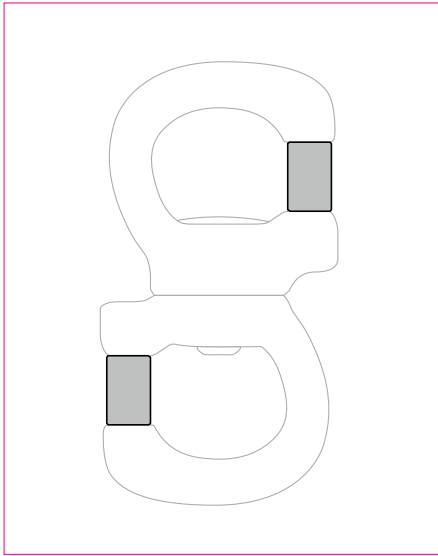


- ・ フレームの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。
- ・ フレームの一部を隠しているすべての用具を取り外してください。

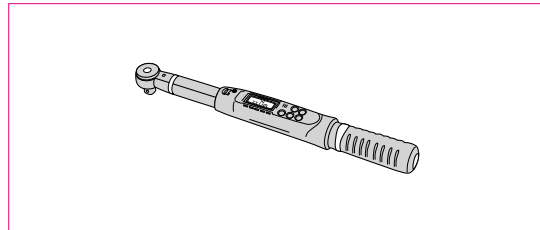


- ・ ロープやアンカーとの接触による摩耗を確認してください。(傷の深さ: 1mm 以上の深さの摩耗がある場合は製品を廃棄してください。鋭利な角などがないことを確認してください。)

4. スペーサーおよびスクリューの点検



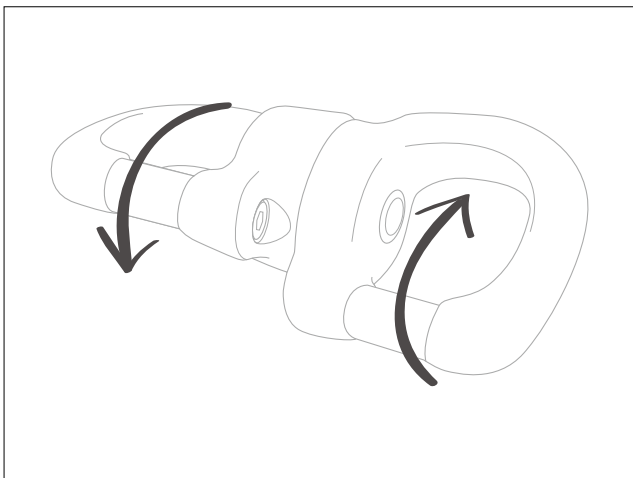
・ スペーサーの状態を確認してください。(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)



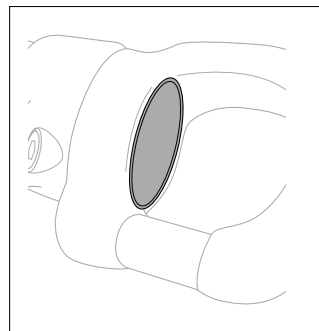
・ トルクレンチを使用して、ネジの締め付けトルクを確認してください。(締め付けトルクは製品の取扱説明書に記載されています)

・ 製品の状態により必要な場合のみ、ネジを取り外して製品を別々に点検してください。この場合、取扱説明書に記載されている取り付け方法を参照してください。

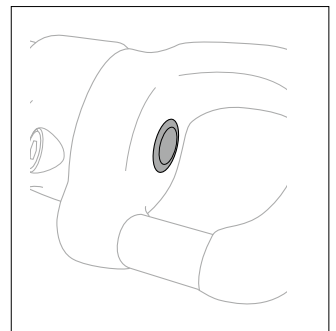
5. 回転軸およびベアリングの点検



・ ベアリングについて、両方向にスムーズに回転することを確認してください。
2つのフレームの間に過度なあそびがないことを確認してください。



・ 回転軸のカバーがあることを確認してください。



・ 回転軸のリベットの状態を確認してください。(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)